



これで、もう安心! 電気自動車(EV)の
5つの不安にお答えします!

電気自動車(EV)には興味があるけど、不安なこと、知らないこともあって…。
なぜ電気自動車がいいのか、教えて!

Q1 長い距離走れるの?

A 1回の充電で
200~600km*走行可能



Q2 どこで充電できるの?

A 充電スポットは
全国に約2万箇所以上



日産 リーフ

Q3 値段は高いんじゃないの?

A 車両価格引下げや補助金
で購入負担軽減



Q4 車種は少ないんじゃない?

A 年々、販売車種が
増えています



三菱 i-MiEV



BMW i3

Q5 車両性能はいいの?

A 静粛性と加速力が
大きな魅力



詳しくは裏面で解説



*定められた試験条件での値。
使用環境や運転方法に応じて航続可能距離は異なります。

電気自動車 (EV) の魅力を徹底解説

航続距離

多くの車種が1回の充電で **200~600km**※ 走行可能



バッテリー性能の向上、搭載バッテリーの容量拡大などで航続距離も伸び、現在では多くの車種が1回の充電で200~600km※の走行が可能に。一般的に自動車ユーザーにおける日常一日当たりの平均走行距離は30km程度といわれていますので、日常利用には問題ありません。

※定められた試験条件での値。使用環境や運転方法に応じて航続可能距離は異なります。



充電スポット

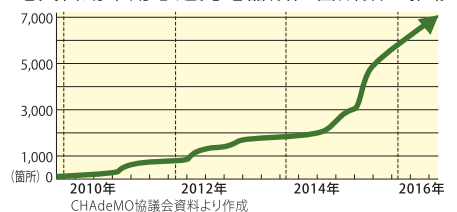
全国約**2万箇所**※以上の充電スポット。GS数の約6割に匹敵



道の駅、高速道路SA、ショッピングセンター、コンビニなど、ここ数年で充電スポットは急速に拡大、今や2万箇所※以上にのびます。これはガソリンスタンド (GS) 数の約6割に匹敵。急速充電器なら15~45分で80%充電でき、休憩時間や買い物ついでに充電も。また、自宅に充電コンセントを取り付ければ、自宅での充電も可能に。

※急速充電器7,145箇所、普通充電器14,665箇所 (GoGoEVの2017年9月27日現在の情報)。

電気自動車用急速充電器設置箇所数の推移



コスト

補助金で **購入負担軽減**。電気はガソリンより安価



EV購入者には国や自治体から、車両ごとに定められた補助金が支給されます。また、ランニングコスト面において、電気はガソリンよりもかなり安価。一般的な電気契約で年間約4万円※も安いとの試算も。

※2017年4月時点でサイトに公開されている代表的な電気自動車・燃料費の情報を元に、年間走行距離10,000kmとして次世代自動車振興センターにて試算。

日産リーフSの場合

車両本体価格 2,917,000円	国の補助金 400,000円	= 2,117,000円
	A県 200,000円 B市 200,000円	

※自治体の補助金制度の有無については自治体ごとに異なります。※車両価格 (税抜)、補助金額はH29年9月時点の値

ラインナップ

現在販売されている補助金対象のEVは **9車種**※



8年前に1車種が一般販売されたEVも、2017年には9車種※になり、乗用車からバン・トラックまで幅広い用途に対応できます。近年は、充電可能なハイブリッド自動車「プラグインハイブリッド自動車 (PHV)」も増加し、EV・PHV合わせて26車種※が補助金対象になっています。

※2017年9月末時点の補助金対象車種

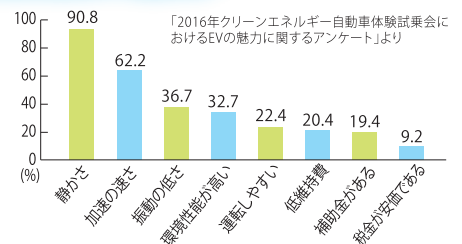


走行性能

試乗した方の **6割以上が静かさ・加速性能に驚き**



EVに試乗した方からは、「ガソリン車のような音も振動もなく疲れにくい」「電車のようなスーッと静かで力強い加速が印象的」「思った以上に運転しやすい」などの声が多く集まりました。EVは騒音や排気ガスでご近所など、周囲に迷惑をかけることもありません。



詳しくは

一般社団法人 次世代自動車振興センター 次世代自動車部

次世代自動車

検索

TEL 03-3548-3231
FAX 03-3548-3232



<http://www.cev-pc.or.jp>

TEL受付時間
9:00~12:00 / 13:00~17:00
(土日・祝祭日・年末年始を除く)



〒103-0027 東京都中央区日本橋一丁目16番3号 日本橋木村ビル